

屋久島山岳部における標識類(イメージ)

1、標記方法

地名や名称及び表現方法等について、既存の標識や地図、パンフレット等で相違がある場合には、なるべく統一を図る。

1-1、地名統一標記

地名には原則として英語(ローマ字)を併記する。

	No.	日本語	読み	英語
あ	1	・・・	・・・	・・・
み	2	宮之浦岳	みやのうらだけ	Mt. Miyanoura
・	3	・・・	・・・	・・・
・	4	・・・	・・・	・・・

1-2、マナー・ルール、注意喚起に関する表現方法

原則として、日本語及び英語での表記に加え、直感的な理解を促すために、ピクトグラムを併記する。ピクトグラムは原則「自然公園等施設技術指針」内に記載された「公共標識のピクトグラム」を使用する。

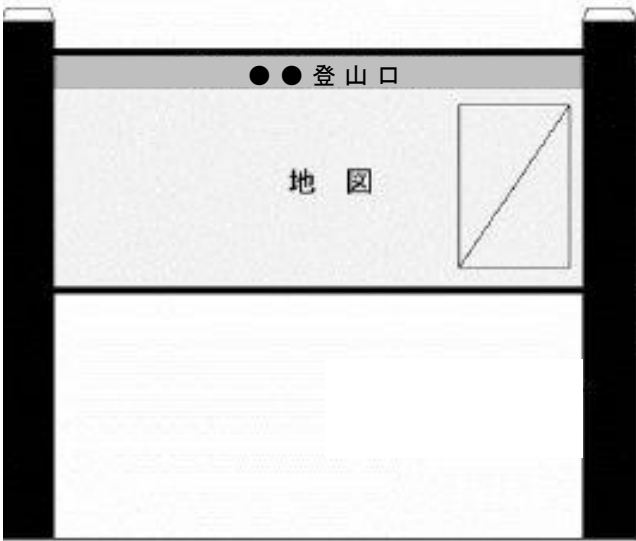
分類	日本語	英語	ピクトグラム
ゴミ	・ゴミは持ち帰る	・・・	
植物	・盗掘、盗採の禁止	・・・	
動物	・エサやり禁止	・・・	
注意喚起	・この先渡渡渉点	・・・	

2、標識種類別の指針

標識の種類別に、表示項目、具体的な設置箇所、設置イメージに関する基本的な指針を示す。
今後の標識類の設置、更新に際しては、原則これらに準ずる。

2-1、入口標識

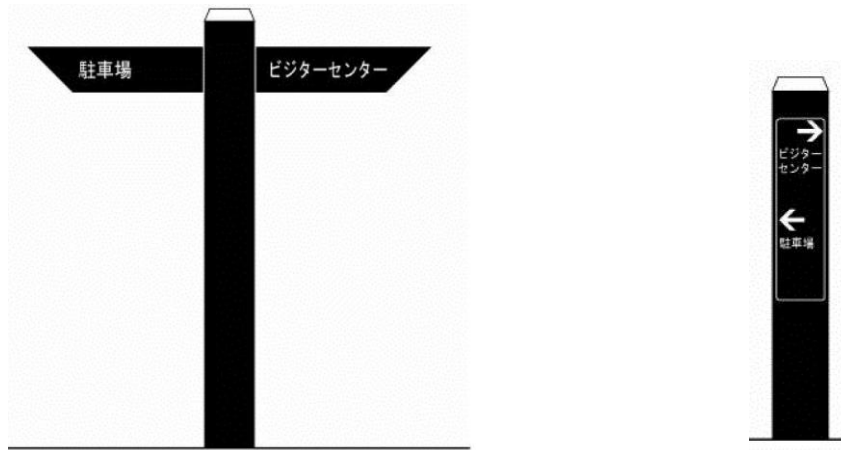
配置	表示項目		具体的な設置箇所
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な登山口 	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置主体名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荒川登山口 ・ 淀川登山口 ・ 白谷雲水峡入口 ・ ヤクスギランド入口
	選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルート名 ・ 往復時間、距離、難易度 ・ 必要な装備 ・ マナー、ルール ・ 自然災害等の安全に係る情報 ・ 優れた景観、特徴的な植物、文化的施設等 	
設置イメージ			

配置	表示項目		具体的な設置箇所
<ul style="list-style-type: none"> ・その他の登山口 	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・設置主体名 	<ul style="list-style-type: none"> ・太忠岳入口 ・龍神杉入口 ・楠川入口（県道側から） ・旧栗生歩道入口 ・湯泊歩道入口 ・愛子岳入口 ・永田歩道入口 ・花山歩道入口
	選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート名 ・往復時間、距離、難易度、道迷いの程度 ・必要な装備（GPSの携帯） ・自然災害等の安全に係る情報 ・優れた景観、特徴的な植物、文化的施設等 	
設置イメージ			
			

2-2、誘導標識

配置	表示項目		具体的な設置箇所
<ul style="list-style-type: none"> ・分岐点 ・ルート区間内 	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地名（次のポイント） ・距離 ・設置主体 ・英語表記併用 	<ul style="list-style-type: none"> ・永田岳山頂 ・永田岳山頂前の分岐 ・鹿之沢小屋 ・楠川分れ ・宮之浦岳山頂 ・投石岩屋 ・辻峠
	選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート名 ・水場の案内 ・入り口からの「位置」がわかるよう、番号を入れる 	
<ul style="list-style-type: none"> ・県道からアクセスする登山口 	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・県道の方向 ・距離 ・設置主体 ・英語表記併用 	<ul style="list-style-type: none"> ・登山口

設置イメージ



2-3、注意標識

配置	表示項目		具体的な設置箇所
<ul style="list-style-type: none"> ・移動中に注意喚起が必要な地点、管理上必要な地点に設置 	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・注意、マナー ・設置主体名 ・英語表記、ピクトグラム併用 	
	選択	<ul style="list-style-type: none"> ・水場の状況(枯れている場合が多いこと等を注意喚起) 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛子岳 ・宮之浦岳山頂～高塚小屋 ・永田歩道
		<ul style="list-style-type: none"> ・立ち入り禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ・花之江河、小花之江河 ・高塚小屋の後ろ
		<ul style="list-style-type: none"> ・降雨時には渡渉不可 	<ul style="list-style-type: none"> ・渡渉点
設置イメージ			
			

2-4、資源名標識

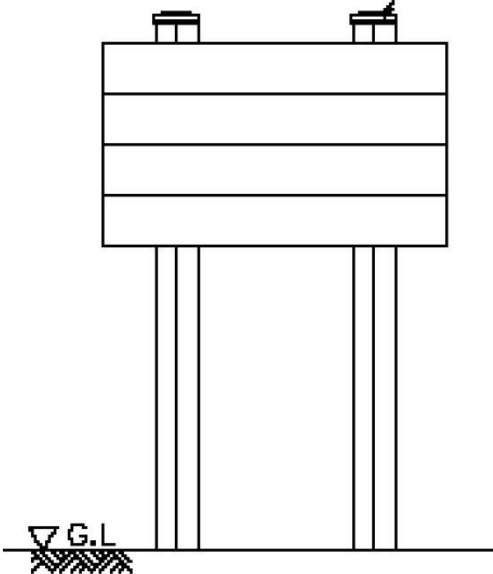
配置	表示項目		具体的な設置箇所
<ul style="list-style-type: none"> 優れた景観、特徴的な植物、文化的施設等が存在する箇所 	名称のみ	<ul style="list-style-type: none"> 設置主体名 資源名、地点名 	<ul style="list-style-type: none"> 著名杉（大王杉、夫婦杉、三大杉など）
	解説付き	<ul style="list-style-type: none"> 設置主体名 資源名、地点名 資源について、簡易な解説をする 英語表記併用 	<ul style="list-style-type: none"> ウィルソン株
設置イメージ			
			

表 屋久島山岳部（国立公園・世界遺産地域）標識分類

（一事例）

標識の種類	設置場所	内容	備考
登山道入口の案内 （主要の登山道）	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川登山口 ・淀川登山口 ・白谷雲水峡入口 ・ヤクスギランド入口 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート名 ・往復時間、距離、難易度 ・必要な装備 ・電波が通じる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者層の幅が広く、登山経験の浅い利用者が多く利用するため、他の登山道よりは手厚く案内することになる。
登山道入口の案内 （その他の登山道）	<ul style="list-style-type: none"> ・太忠岳入口 ・龍神杉入口 ・楠川入口（県道側から） ・旧栗生歩道入口 ・湯泊歩道入口 ・愛子岳入口 ・永田歩道入口 ・花山歩道入口 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な装備 ・GPSを携帯すること ・難易度、道迷いの程度 ・ロープ場、危険な箇所 ・渡渉点 ・必要な飲料の量 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用体験ランクに応じ、内容は選定して入れる。 ・難易度の高い（原始的な場所を通過する）ルートに応じて、看板は設置しすぎないように、原生性を保つようにする。
誘導標識	<ul style="list-style-type: none"> ・永田岳山頂 ・永田岳山頂前の分岐 ・鹿之沢小屋 ・楠川分れ ・宮之浦岳山頂 ・投石岩屋 ・辻峠 	<ul style="list-style-type: none"> ・次のポイント（場所）までの案内 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語標記併用
		<ul style="list-style-type: none"> ・水場の案内 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語標記併用
	<ul style="list-style-type: none"> ・登山口 	<ul style="list-style-type: none"> ・県道の方向を示す矢印標識 	<ul style="list-style-type: none"> ・登山口から県道（バス停）まで徒歩移動する人が迷う場合もあるため。
	<ul style="list-style-type: none"> ・主要登山道からのルート途中に道標設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・入り口からの「位置」がわかるよう、番号が入った道標にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパス、地図を携帯していない利用者のいるため、ルート途中の位置を知らせるため。

標識の種類	設置場所	内容	備考
注意喚起	・ 渡渉点	・ 降雨時には渡渉不可	・ 全ての渡渉点に設置するのではなく、利用体験ランクに応じた設置が望ましい。
	・ 高塚小屋の後ろ	・ 立ち入り禁止	・ 見えるところに看板があると、行きたくなる。通常は見えないところに看板を設置してほしい。
	・ 愛子岳 ・ 宮之浦岳山頂～高塚小屋 ・ 永田歩道	・ 水場があっても、枯れている場合が多いことを注意喚起	
	・ 花之江河、小花之江河	・ 立ち入り禁止	・ 湿原内に入る人がいるので、気がつきやすい位置に看板設置する
資源名の標識	・ ウィルソン株	・ 標識がいくつもあるので、統一標記にする ・ 特に外国人も多く見る場所なので、英語標記併用	
	・ 著名杉（大王杉、夫婦杉、三大杉など）	・ 名称標記の看板	・ 著名杉は名称標記の看板は設置する。それ以外の特徴的な巨木等については、基本的にガイドからの説明にする。

■ 留意点

- ・ 盗掘や盗採の恐れのある植物の既設案内看板は、順次撤去すべき。
- ・ 国立公園の歩道計画にない登山道を通過しないと辿り着けない山については、標識等で紹介すべきではない。